

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム	担当部局庁	科学技術・学術政策局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度	担当課室	国際交流官付	国際交流官	石田 徹			
会計区分	一般会計	施策名	VII-4. 科学技術の国際活動の戦略的推進					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-	関係する計画、 通知等	第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定)					
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	国際的な知的公共財の創出や地球規模課題の解決に資する科学技術協力を国際機関への拠出を通じて行い、我が国の科学技術の戦略的推進を図ることを目的としている「国際機関への拠出等」のうち、ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム(HFSP)は、学際性、国際性、若手重視の基本理念に基づく、生体の持つ優れた機能解明に寄与する基礎研究に対する国際共同助成制度である。国際HFSP推進機構への拠出は、国際的な知的公共財を創出し、広く人類全体の利益に供するとともに、科学技術の分野で我が国が国際社会における先駆的役割を果たすことを目的とする。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	「国際機関への拠出等」のうち、本事業は、国際HFSP推進機構の活動である、①国際的・学際的共同研究チームに対する研究助成(研究 Grant)、②若手研究者が国外研究を行うためのフェローシップ、③フェローシップ受賞者の母国での独立を支援するキャリア・ディベロップメント・アワード(CDA)、④受賞者会合等の実施に必要な経費を拠出するものである。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算			1,488	1,354	1,354	
		補正予算			-	-		
		繰越し等			-	-		
		計			1,488	1,354	1,354	
	執行額			1,488				
執行率(%)			100.0%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	成果実績		-		-	-	-	-
	達成度		%		-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	研究 Grant 助成実績(総受賞者数)		活動実績 (当初見込み)	人	111	103	105	-
	フェローシップ助成実績		活動実績 (当初見込み)	件	93	74	76	-
	CDA 支援実績		活動実績 (当初見込み)	件	24	16	8	-
単位当たり コスト	-		算出根拠	日本政府の拠出金は、Grant・フェローシップ・CDA 支援等の HFSP の活動に使われるが、用途の割合を特定して拠出しているわけではない。そのため各アウトプットに対応するインプットの額を特定できないことから、単位当たりコストは算出できない。				
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目		24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	生体機能国際協力基礎研究拠出金		1,354百万円	1,354百万円				
	計		1,354百万円	1,354百万円				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は基礎研究分野に対する支援であり、民間の研究のみでは解決できないところが多分にあることから、国が実施すべきであり、ニーズの高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	本事業は、参加各国からの拠出金を用い、HFSP事務局の審査委員による審査を経て決定した候補者に研究資金等を提供するものであり、運営経費以外の用途はない。HFSP事務局が支援国から独立して研究課題の採択を行っていることから、真に学術的な意義の高い研究につながっているという意見がある一方、日本の拠出割合に対して、日本人の採択率が低い点が指摘されているため、今後はより本プログラムを周知し、優秀な日本人研究者の応募を促進する。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業は、近年、アジア地域を中心とした科学技術外交の重要性が問われる中で、アジアのみならず先進国における我が国のプレゼンスを維持することに大きく貢献してきた。また、当グラントを獲得した後にノーベル賞を受賞した研究者は2011年までに合計18名にのぼり、基礎研究レベルの向上につながっている。我が国の拠出額の割合については、初年度の我が国に拠出額が全体の約97%を占めていたところ、当面は50%まで削減する目標を設定し、2010年度にそれを達成している。今後も他参加国にさらなる拠出を求めるとともに、新たな参加国が得られるよう努める。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	※類似事業名とその所管部局・府省名 事業名：生体機能国際協力基礎研究拠出金 府省名：経済産業省産業技術環境局産業技術政策課国際室	
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>【目的・予算の状況】 当事業は、国際的な知的公共財を創出し、広く人類全体の利益に供するとともに、科学技術の分野で我が国が国際社会における先駆的役割を果たすことを目的とする有用な事業である。</p> <p>【資金の流れ・費目・使途】 当初の目的どおり、国際HFSP機構へ拠出された。</p> <p>【活動実績、成果実績】 当グラントを獲得した研究者のうち、合計18名が2011年までにノーベル賞を受賞した。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>1. 事業評価の観点：当該事業は、生体の持つ優れた機能解明に寄与する基礎研究に対する国際共同助成制度であるヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラムの実施を支援するため、国際HFSP推進機構に対して拠出金を拠出する事業である。</p> <p>2. 所見：当該事業は、平成22年度において我が国の拠出額が全体の50%を占める程度まで削減されたことは評価するものの、引き続き、他の参加国に更なる拠出を求めるとともに、新たな参加国が得られるよう努めるべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
執行等改善	平成23年度の我が国の拠出額は、全体の44%程度まで縮減した。最大の拠出国である日本の貢献の減少はプログラムの運営に多大な影響を与えるため、日本は他の参加国にさらなる拠出を求め、未参加国には参加を呼びかけるとともに、平成25年度まで日本の現在の拠出額を維持するよう最大限の努力をする旨を表明したところ。並行して、より効率的で効果的なプログラムの運用を目指した努力を続ける。		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p>行政刷新会議「事業仕分け」第2ワーキンググループ(WG)において、当該事業のうち経済産業省拠出分(予算事業名：生体機能国際協力基礎研究の推進)が対象となった(平成21年11月27日)。</p> <p>上記WGの評価結果：「生体機能国際協力基礎研究の推進」・予算要求の縮減(2割削減)。</p> <p>この結果を踏まえ、経済産業省では、平成22年度以降毎年約2割の予算削減を行っている。</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0191	平成23年行政事業レビュー	0033

文部科学省
(1,488百万円)

国際HFSP推進機構の活動である、生体の複雑な機能の解明を対象として若手研究者を中心とする研究グラント等、HFSPの各種事業の実施に必要な経費を拠出する。



〔拠出〕

【A】 国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム推進機構
(1,488百万円)

国際HFSP推進機構の活動である、国際的・学際的共同研究チームに対する研究助成、若手研究者が国外研究を行うためのフェローシップ、フェローシップ受賞者の母国での独立を支援するCDA、受賞者会合等、HFSPの各種事業を実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A.国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム推進機構			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
拠出金	研究グラント事業、フェローシップ事業、学際的フェローシップ事業、CD A、受賞者会合を実施するための経費及び管理経費	1,488			
計		1,488	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム推進機構	研究グラント事業、フェローシップ事業、学際的フェローシップ事業、CDA、受賞者会合の実施	1,488	-	-

※拠出金のため、入札者数および落札率は「-」としている。